

事務事業名	春江坂井学校給食センター管理事業			事業コード	10060400203
所管部署	春江・坂井学校給食センター	電話	72-1705	記入者名	松浦ひな子
事業対象	児童・生徒				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	学校教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画	無				
事業の概要	<p>成長期にある児童生徒の心身の健全の発達のため、「児童・生徒が生涯を通して健全な生活を送る基礎を培う安全で美味しく栄養バランスのとれた給食の提供をする」ことにより、健康の増進、体位の向上を図ることはもちろんのこと、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付けられる学校給食をめざす。</p>				
	<p>春江・坂井学校給食センター管内の小学校7校、中学校2校（給食センターを含む）の児童、生徒、職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 217,230千円 ・消耗品費・印刷製本費 4,136千円 ・燃料費、光熱水費 16,247千円 ・修繕料（施設等修繕、給食備品修繕他） 2,281千円 ・賄材料費（給食材料費） 194,566千円 ○役務費（検査手数料・自動車保険料他） 1,316千円 ○委託料（害虫駆除委託料他） 730千円 ○使用料及び賃貸料（食器一式賃貸借他） 2,380千円 ○備品購入費（給食用備品購入費他） 939千円 ○負担金（学校給食センター連絡協議会負担金） 10千円 ○公課費（自動車重量税） 103千円 				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行ける改善提案	完全学校給食を継続実施しますが、春江坂井学校給食センターについては、施設の老朽化が著しく早急な改築が必要なため、移転先用地の取得及び建築設計業務委託に取り組みます。
目標年度 平成24 年度	
取組状況	給食センターの移転先が決定し、建設設計業務委託・内部備品配置等に取り組みます。
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	学校給食費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	1,031 千円	千円	千円	千円	千円			
		需用費	218,374 千円	千円	千円	千円	千円			
		役務費	1,445 千円	千円	千円	千円	千円			
		その他	2,739 千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費合計	223,589 千円	千円	千円	千円	千円				
	人件費	正職員	20.00 人	135,900 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	10.00 人	22,930 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	30.00 人	158,830 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	382,419 千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円					
地方債		千円	千円	千円	千円					
その他		201,584 千円	千円	千円	千円					
一般財源		180,835 千円	千円	千円	千円					
財源合計	382,419 千円	千円	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断理由	新センターを建設します。			
実施主体の方向性	市の関与を拡大します。	目標年度	—	年度を目安
判断理由	給食を提供するに当たっては「学校給食衛生管理基準」に従い、食品事故を起こさないための安全管理が極めて重要です。そのうえおいしい給食を求められています。平成23年度まで実施した、春江、坂井地区の幼稚園の外部委託を平成24年から給食センターから提供します。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	—	年度を目安
判断理由	ライフサイクルコスト計画によると、高熱水費が1,668万円から2,417万円になる他、今までに無いエレベーター保守点検60万円等が必要となります。			
人員投入の方向性	人員の増加を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断理由	・新センターが稼動すると、現在前日に行ってる下処理が当日になるため、時間給の下処理担当（調理師の免許不要）が必要となります。 ・植物アレルギーの対応を実施することになると、専任の栄養士が必要となります。 ・新センターは、文部科学省「学校給食衛生管理基準」と厚生労働省「大量調理施設衛生マニュアル」を順守することにより、汚染区域・非汚染区域の区分がされます今までのように容易に			
すぐに行ける改善提案	完全学校給食を継続実施しますが、春江坂井学校給食センターについては、施設の老朽化が著しく早急な改築が必要なため、移転先用地の取得を完了し、平成25年9月稼働開始を目指し実施設計を行います。			
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	—	年度		

【所属長評価】

成果	地場産食材利用率	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
		目標値	45.0	達成率	45.0	達成率	41.0	達成率
成果	給食センター施設、備品修繕件数	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
		目標値	39	達成率	18	達成率	21	達成率
活動		指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
		目標値		達成率		達成率		達成率
		指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
		目標値		達成率		達成率		達成率
		指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
		目標値		達成率		達成率		達成率
		指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
		目標値		達成率		達成率		達成率

【事業の成果】